

# NSC定例勉強会

## Pax Americana後の世界の未来展望 イントロダクション

日時：2025年8月22日(金) (14:00～16:00)

場所：オンライン

後藤 敏彦

NSC共同代表幹事

サステナビリティ日本フォーラム理事特別顧問

# 人類社会・企業を取り巻く時代背景 その1

⇒ 対応策としての ソフトロー・ハードロー

- ◆ 課題Ⅰ． 人間活動を起因とする気候危機・  
生物多様性毀損・汚染
- ◆ 課題Ⅱ． グローバリゼーションの光と影  
20世紀後半～  
世界的に人権侵害や特に先進国での世紀  
末からの格差拡大 (耐えられない不平等)
- ◆ 課題Ⅲ． 各地での戦争、紛争、 等々

課題全般に対して

⇒ サステナビリティ全般に対する国連等の取組や金融の  
動員。 SDGs、ESG金融、インパクト投資etc.

# 人類社会・企業を取り巻く時代背景 2.

◆ Pax Americanaの終焉(?)後の世界はどのようなのか?

戦後80年の自由貿易体制の終焉(?)

- ・多極化? 無極化?、
- ・Globalizationの終焉?、再びInternationalization ?
- ・自由と平等、民主主義 という理念の行方は?

◆ AIの進展後の世界

今の職業の半数以上が消滅?

ホワイトカラーの消滅?

# 世界秩序の模索

# ボックス × × 後の世界

- ◆ Pax Romana 「ローマの平和」  
崩壊後、ルネッサンスまで西洋は千年の暗黒(?)時代
- ◆ PAX MONGOLICA  
日本ではあまり聞かないが英語圏では知られた言葉らしい。
- ◆ Pax Britannica  
関税戦争、ブロック経済化が第二次世界大戦の原因の一つ。
- ◆ Pax Americana  
ブレトンウッズ体制(自由貿易体制)  
今後、**どうなる?**

アメリカが世界の警察官をやめて以来(オバマ以来)、その後の世界はどこへ向かっているのか  
???

# 経済

- ◆ 保護主義が蔓延 ⇒ ブロック経済化???
- ◆ ドル\$が基軸通貨でなくなる???
- ◆ 米の\$印刷利益(シノリッジエ)が消滅???
- ◆ 名目共にブレトンウッズ体制の終焉???

# 多極化？ 無極化？

- ◆ 多極化？  
一説に 南北アメリカ圏・欧州圏・中露圏・インド/イスラム圏。  
日本は?? アフリカはどこに？
- ◆ 無極化？
- ◆ いずれにせよ、**理念ではなく Power politics の世界？**

25-05-20朝日朝刊 帝国支配 ⇒ バンス米国副大統領ブレン  
バトリック・デニーン ノートルダム教授

『リベラリズムはなぜ失敗したか』『体制転換 ポストリベラリズムの未  
来へ』

帝国が崩壊するときは、大きな混乱、紛争。

「国民主権は虚構にしか過ぎない。事実、危機的な状態に  
おいては、つまり、絶対主義的な王に似た強力な指導者が  
、国民の喝采と共に出現する。」

柄谷行人『世界史の構造(284頁)』 岩波書店

# 近代の世界秩序の理念

- ◆ **共産主義** ノーメンクラトゥーラの支配に堕した。  
1989年のソ連崩壊により世界秩序としての理念では  
なくなかった(と思う)。
- ◆ **自由主義**  
覇権国(?)である米国の変質で世界理念として続くのか??  
(オオカミにとっての自由は往々にしてヒツジにとっての死  
を意味する。ステグリッツ『資本主義と自由』より)
- ◆ **新しい世界秩序の理念** やはり自由主義しかないのか?  
(その場合平等理念にどう対処する?)  
社会民主主義の可能性は?



# Pax Americanaの理念的基盤

- ◆ 市民社会 ⇒ 自由と平等 = 人権
- ◆ 自由と平等は、究極は相いれない概念。  
バランスをとってきた？
- ◆ Globalizationの負の側面の一つは、  
自由概念の圧倒により平等概念の後退を招いた。  
⇒ 格差拡大(耐えられない「不平等」)

# ◆ Human Rights

当初、白人男性の人権 ⇒  
女性、すべての人々、子ども、障がい者、  
先住民、etc. に拡大してきている  
今後とも新しいものが出現  
セクハラ、パワハラ、LGBTQ+, etc.

## ◆ 課題

人間中心主義 ⇒ 生命倫理、地球倫理

# 世界秩序の理念なき世界と断定 した場合、我々はどうする

- ◆ 世界秩序の理念を議論する。
- ◆ 国単位でグランドデザインを描く。
- ◆ コミュニティ単位でグランドデザインを描く。
- ◆ 複数の同盟国でグランドデザインを描く。
- ◆ その他、例えば大国の属国になる。

**etc. etc.**

# 『国家はなぜ衰退するか』

◆ ダロン・アセモグル & ジェイムス・A・ロビンソン  
「社会制度が国家の繁栄に与える影響の研究」  
2024年度ノーベル経済学賞

◆ **国家が貧困を免れるには**  
**適切な経済制度** 私有財産と競争が保証されて  
いる。

**開かれた多元的な政治制度**(包括的な政治制度)  
三権(?)分立、公職に就く自由競争、巾広い有権者、  
新しい政治指導者が生まれる環境、etc. etc.

# 日本は、どうする？ どうなる？

- ◆ 独立？ 独立して、他国と友好的に交流？  
どうやって？ 同盟国をつくる？ 他の選択肢は？  
独立？ 再び鎖国？  
独立？ 再び大国(八紘一宇)を目指す？  
食料・エネルギー・水の自給は可能性あり(私の意見)。  
自衛は？ その他の資源無しでゆっていけるか？
- ◆ 米の属国？ 今でも属国？ アメリカは日本を守らない？  
守れない？ アメリカにとって日本の価値は？
- ◆ 中露圏に取り込まれる？ 北海道・尖閣・沖縄は割譲させられる？

レベルの低い議論のよう(に思える)であるが、現実？

以上は私(後藤)の問題意識です。  
ここからは、本題の古屋先生のお話をお聞きし、皆様と議論したいと存じます。